

平成 31 年度 戦略的 MICE 誘致促進事業
MICE 開催歓迎事業「空港・港湾お出迎えにおける歓迎スタッフ派遣業務」
企画提案コンペティション応募要綱

平成 31 年度 戦略的 MICE 誘致促進事業 MICE 開催歓迎事業「空港・港湾お出迎えにおける歓迎スタッフ派遣業務」の実施について下記のとおり公示する。

但し、本企画提案コンペティションは、平成 31 年度の当初予算成立を前提とした年度開始前の事前準備手続きであり、予算成立後に効力が生じるため、沖縄県議会において、当初予算案が否決された場合は、契約の締結をしない。

（目的）

第 1 条 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下「OCVB」とする）では、沖縄県内で開催される企業等のインセンティブツアー、学術会議などの各種コンベンション等の参加者の満足度向上を目的に、空港・港湾におけるお出迎えを実施している。この要綱では、OCVB が委託する予定の「空港・港湾お出迎えにおける歓迎スタッフ派遣業務」企画提案コンペティション（以下「企画コンペ」とする）への応募に関し必要な事項を定める。

（企画内容）

第 2 条 募集する企画の内容は、別紙「仕様書」のとおりとする。

（見積り）

第 3 条 提案総額の上限は、3,750,000 円（消費税込み）とする。ただし、この金額は企画提案のため提示した金額であり、実際の契約金額とは異なる。

（委託期間）

第 4 条 委託期間は契約締結の日から 2020 年 3 月 31 日までとする。

（参加資格）

第 5 条 企画コンペの参加資格は、次の要件を全て満たす企業又は団体とする。

- (1) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令 16 号）第 167 条の 4 第 1 項の規定に該当しないこと。
- (2) 役員に次のいずれかに該当するものが含まれていないこと。
 - ①破産者で復権を得ない者。
 - ②禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者。
 - ③暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員若しくは暴力団員でなくなった日から 5 年を経過しない者（以下「暴力団の構成員等」と略記）

- (3) 暴力団の構成員等の統制の下にない企業又は団体。
- (4) 沖縄県内に本社又は支店、営業所等を有し、自社内で本事業業務が実施できること。
- (5) 過去に官公庁及び関係団体から受託した類似事業の実績（沖縄県内または他都道府県）を有すること。
- (6) 本事業を運営するにあたっては、必要に応じて事務局と速やかに連携を行うなど、事業を円滑に履行することができる体制が整備されていること。
- (7) 本業務に企画提案するにあたっては次の事項に留意すること。
 - ①複数の企業等でコンソーシアムを構成し、応募する場合は、幹事企業を選定すること。
 - ②1社につき1提案の応募とし、1つの企業が複数のコンソーシアムを通じて2企画以上提案することはできない。
- (8) コンソーシアムを構成する場合、幹事企業は本項第4号に該当する企業、団体であること。
- (9) 沖縄県から指名停止措置を受けていない企業、団体であること。

(提出書類)

第6条 企画コンペに参加する企業又は団体は、次に掲げる書類を提出期限までに OCVB へ原本を郵送、もしくは持ち込みにて提出しなければならない。FAX、電子メール等での提出は受け付けない。

(1) 企画提案参加申込書（様式1）

- ①提出期限／平成31年3月7日（木）12:00（必着）まで
- ②企画提出者は、所定の資料に必要事項を記載後、原本を郵送（持参）すること。
- ③提出期日（時間）までに提出の無い者の提案は、受け付けない。

(2) 質問書（様式2）

- ①提出期限／平成31年3月5日（火）12:00 まで
- ②所定の様式（様式2）に質問事項を記入後、E-mail 添付にて OCVB 担当者へ質問すること。
- ③E-mail 以外での質問は受け付けない。
- ④回答は「おきなわ MICE ナビ」にて公開。

(3) 企画書

- ①提出期限／平成31年3月14日（木）12:00(正午)（必着）まで
- ②提出場所／一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー
受入事業部 MICE 推進課 多和田、岸本、金城 宛
- ③書類内容／提出する全ての書類は2穴パンチをあげ、カバー等は付けないこと。

・企画提案提出書（様式3）

※共同体（コンソーシアム）として提案する場合、様式3の項目3、4については参加事業者全社分を提出すること

・企画書

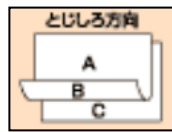
※企画書は事業者名（共同体/コンソーシアム含む）を明記した7部を提出

※提出する企画書については、A4 横書き・綴じ方は長辺綴じとし、所定の形式以外の企画書

については受け付けない

※表紙、目次を省く両面印刷 10 枚以内（見積りは別冊添付）

※綴じ方例



・見積書

※見積書は(事業者名表記／代表者印押印)のものを 7 部提出

※各項目別の一式表記と内訳明細書

- 2 企画提案参加申込書（様式 1）を提出後、諸般の事情により企画提案への参加を辞退する場合は、企画書の提出期限日までに辞退申請書（様式 4）を提出すること。

（審査）

第 7 条 提出された企画提案に係る審査は次の過程により実施する。

- (1) 1 次審査を企画コンペ選定委員会による書面審査にて行い、上位 3 社を上限に選出する。
- (2) 前号の審査で選定された企業又は団体を対象に、プレゼンテーションに基づく 2 次審査を行い、委託候補を選定する。なお、プレゼンテーションの持ち時間は 1 社あたり 20 分とし、うち 5 分を質疑応答の時間とする。
- (3) 1 次審査の結果、および 2 次審査に係る詳細な事項については 1 次審査で選出された企画の提案者のみに通知する。
- (4) 2 次審査の結果については採択の可否にかかわらず書面により企画提案者へ通知する。
- (5) 企画提案に係る応募が 3 社以下の場合は 1 次審査を省略し、2 次審査のみ行う。

2 審査日程を次のとおり定める。

- ・ 1 次審査実施予定日：平成 31 年 3 月 15 日（金）13:30～
- ・ 2 次審査実施予定日：平成 31 年 3 月 19 日（火）13:30～

3 審査にあたっては、次の各号に定める内容に基づき総合的に勘案し評価を行う。

- (1) 本業務の趣旨を理解したうえで仕様書の委託内容を網羅した実施内容となっているか。
- (2) MICE で来県する主催者及び参加者にとって、満足度の高いお出迎えを行う工夫がなされているか。
- (3) 企画提案の根拠および企画の実現性があるか。
- (4) 実施内容を踏まえた実施体制となっているか。
- (5) 本事業と類似又は同規模の事業を実施した実績を有しているか。
- (6) 見積額は限られた予算の中で最大の効果を生む内容となっており、合理的且つ適正であるか。

（委託契約）

第 8 条 委託契約については、原則として第 1 位入選者と契約を行うものとするが、委託に関して必要

な協議が合意に至らなかった場合は、次順位以降の者を繰り上げて、協議の上契約するものとする。

(再委託について)

第9条 本事業を実施するにあたっては、契約の全部の履行を一括または分割して第三者に委託し、または請負わせることができない。

2 契約金額の50%を超える業務については、その履行を第三者に委任、または請負させることができない。ただし、これにより難い特別な事情があるものとしてあらかじめOCVBが書面で認める場合は、これと異なる取扱いをすることがある。

3 本委託業務の企画提案参加者であった者に契約の履行を委任し、または請負させることはできない。また、この場合の再委託者の資格については、第5条の規定を準用するものとする。

4 契約の一部を第三者に委任し、又は請負わせようとするときは、あらかじめOCVBの承認を得なければならない。

(その他)

第10条 本条および次の各号に定めのない事項については、沖縄県とOCVBによる協議をもって定める。

- (1) 応募書類の作成等に関する費用は、申請者の負担とする。
- (2) 応募書類に虚偽の記載をした場合には、応募を無効とする。
- (3) 応募書類に不備・不足がある場合、審査の時の減点対象となる。
- (4) 応募書類の提出後は、記載された内容の変更は認めない。
- (5) 提出された応募書類は、返却しない。
- (6) 1次審査、2次審査の審査内容及び経過については、公表しない。